

# 東青梅老壮大学 1 月講座

～冠句を楽しく学んで

作ってみよう!～



を実施しました

令和6年1月25日(木)、青梅市福祉センター集会室にて菅原敏郎(すがわら としろう)先生をお迎えし、新年初めの講座として「冠句講座」を実施しました。

当日は、マスクの着用は自己判断ということで、学長等含め28名の学生が参加しました。

さて、皆さん「冠句」は御存知でしょうか? 「冠句」は上の句が事前に決まっており、これに中の句・下の句を入れて5・7・5で作者の想いをのせて作ります。また、自由度が高く、川柳にも俳句にも成り得るのが冠句の特徴です!(菅原先生解説より)

講座では、前半に下記の事前お題に投句された方々の各句講評を先生に行っていただき、後半に「空っ風」という当日のお題で実際に皆で冠句を作りました。冠句について理解を深めながら終始楽しく学びました♪

## 事前投句お題

「猛暑過ぎ」「虫の声」

「初日の出」「春風に」「穏やかに」

## 当日お題

「空っ風」

すがわら としろう  
**菅原 敏郎 先生**  
(青梅市俳句連盟会長)



No.	上の句	中の句	下の句	選句
1	猛暑過ぎ	歩数かせいで	遠廻り	◎
2	猛暑過ぎ	一気に晩秋	落ち葉舞う	
3	猛暑過ぎ	おでんの香り	縄のれん	
4	猛暑過ぎ	短き秋を	慈しむ	
5	猛暑過ぎ	草葉やうやう	揺るるなり	
6	猛暑過ぎ	しきり直して	終活ぞ	
7	猛暑過ぎ	ホット一息	秋風に	
8	猛暑過ぎ	一季飛び越え	冬支度	
9	猛暑過ぎ	枯れ木目立つや	山肌に	
10	猛暑過ぎ	それでもゴツンの	暑さかな	
11	猛暑過ぎ	家計直撃	青菜塩	
12	猛暑過ぎ	秋の気配に	ふっと空を見る	
13	猛暑過ぎ	秋飛び越えて	雪便り	◎
14				
15	猛暑過ぎ	ひまわりの中	老婆行く	
16	猛暑過ぎ	11月になっても	夏日なり	
17	猛暑過ぎ	凶暴な獣	里に出る	
18	猛暑過ぎ	暁闇の星	瞬きぬ	
19	猛暑過ぎ	待ちに待った	秋の空	
20	猛暑過ぎ	秋と思えど	夏日とは	

No.	上の句	中の句	下の句	選句
1	虫の声	季節途惑い	襟れなき	
2	虫の声	静かな音色に	姿なく	
3	虫の声	アレの瞬間	かき消され	
4	虫の声	朝の静寂を	目覚めさせ	◎
5	虫の声	老いの眠りの	浅きこと	
6				
7	虫の声	夜の静寂を	賑やかに	◎
8	虫の声	耳を澄ませば	恋の歌	
9	虫の声	とぎれとぎれに	居待ち月	
10	虫の声	鳴きたきはむしろ	俺れのほ	
11	虫の声	月に向かって	吠える犬	
12	虫の声	秋の月夜に	響くノクターン	
13	虫の声	猛暑続きで	聞かなんだ	
14				
15	虫の声	我が耳鳴りに	かき消され	
16	虫の声	聞こえるころは	夢の中	
17	虫の声	秋の夜長を	美しく	
18	虫の声	枕辺にして	まどろみぬ	
19	虫の声	休まず響く	老いの耳	
20	虫の声	鳴き声聞けず	夏バテか	

No.	上の句	中の句	下の句	選句
1	初日の出	良くがんばったと	自分ほめ	
2	初日の出	傘寿迎えて	無事祈る	
3	初日の出	誓い新たに	今年こそ	◎
4	初日の出	東の空に	願いかけ	
5	初日の出	布に縫いひとり	押しけり	◎
6	初日の出	拝した時は	二十才大島で	
7	初日の出	今年幸あれ	手を合わず	
8	初日の出	並ぶケーブル	先に有り	
9	初日の出	手袋ぬいで	手を合わせ	
10	初日の出	不良老人	まず一献	
11	初日の出	暁に染まる	富士の山	
12	初日の出	東しの空は	茜色	
13				
14				
15	初日の出	どうやら今朝は	曇り空	
16	初日の出	旅に行きたい	今年こそ	
17	初日の出	幾年見れる	卒寿過ぎ	
18	初日の出	一人の膳に	登る湯気	
19	初日の出	穏やかな年	祈念する	
20	初日の出			

No.	上の句	中の句	下の句	選句
1	春風に	のせて三三	七拍子	
2	春風に	さそわれ土筆も	顔を出ず	
3	春風に	足をのぼしぬ	城跡へ	
4	春風に	草木顔出し	戦ぎけり	
5	春風に	裾遊ばせて	娘ら談笑	
6	春風に	うかれ誘われ	旅に出る	
7	春風に	道行く人の	軽やかさ	
8	春風に	背中おされて	べダル踏む	
9	春風に	頬なでられし	畑仕事	
10	春風に	桜ふくらみ	昼の酒	
11	春風に	着物イメイク	颯爽と	
12	春風に	スカート揺れ	困ったな	
13				
14				
15	春風に	花粉と黄砂	悪乗りし	
16	春風に	いろとりどりの	花のうみ	
17	春風に	誘われて飛ぶ	蝶の群れ	
18	春風に	よちよち進む	孫娘	◎
19	春風に	心うきうき	野辺歩き	◎
20	春風に			

No.	上の句	中の句	下の句	選句
1	穂やかに	重ねて生きたい	残る年	
2	穂やかに	八十路のスタート	ストレッチ	
3	穂やかに	こもれびの中	二人連れ	
4	穂やかに	季節移ろい	日足伸び	
5	穂やかに	喜寿迎へたり	菊薫る	
6	穂やかに	歳を重ねて	八十路かな	
7	穂やかに	年を重ねて	喜寿となり	
8	穂やかに	過ごす笑顔の	友が好き	
9	穂やかに	店仕舞する	踊り宿	◎
10	穂やかに	重い槍より	思いやり	
11	穂やかに	過ごす夫より	労われ	◎
12	穂やかに	老後生活	終わりたい	
13	穂やかに	譲り合っの	世界の和	
14	穂やかに	ヒマワリの花	日を浴びる	
15	穂やかに	過ごしたき日々	有りや無し	
16	穂やかに	みあげる空の	あたたかさ	
17	穂やかに	秋の日差しに	見る紅葉	
18	穂やかに	稜線に落つ	陽の光	
19	穂やかに	日々過ごす	有難さ	
20	穂やかに			